



# 東 風

横浜市立綱島東小学校

## 【好 い 加 減 が 大 切】

い い か げ ん

校 長 三 橋 国 雄

夏休みが始まってすぐの7月23日（土）に、綱島小学校の校庭にある土俵を使っての第50回綱島子どもすもう大会が、開催されました。台風やコロナの影響を受けて5年ぶりの開催ということだそうです。開会セレモニーに始まり綱島の地域の幼稚園児や保育園児たちの取組からスタートです。そして小学生の部1年生からの取組が始まりましたが、学年が上がるにつれて、すもうに力強い押しがあったり、技を仕掛けたり見ている私達にも力が入る取り組みも見られました。会場が綱島小学校だったので東小の子ども達は参加するのか心配でしたが、複数の参加があり、嬉しく思いました。学校、家庭そして地域の中で育つ子どもとして、このような会に参加し、絆を深めていけること素敵ですね。また秋に向けて行事がありましたら是非参加してみてください。（もちろん感染予防対策をしっかりとしたうえでの参加ですが。）

ところで「絆」の語源は今使われている意味とは少し違っていたようですが、次の話を見つけ、なるほどと思いました。「絆」の漢字のつくりは、「糸」+「半」です。一方が相手の力加減に関係なく引っ張ると糸は切れてしまうので、お互いが相手の力加減を思い引き合うことが大切で、そうすることで人と人が繋がり結びつく。「絆」の漢字にはそのような意味があるということです。

ですから「親子の絆を深める」よく使う言葉ですが、この言葉にはいくら親子であっても子どもの力加減(子どもの気持ち)を親として思うことが大切であり、人と人が互いに相手の気持ちを気遣い合うことが大事ですよ。という意味になるわけです。

何をやるにもそうですが今やっていることをいかに自分事としてとらえ、自分なりの考えをもち臨むことができるかが大切です。自分を知ることで相手のことを考えることができる。だから絆を深め合うことができるのではないのでしょうか。

学校でも目標や、めあてを考えるときに「絆」という言葉がよく使われます。人と人とのつながりを大切にという意味での絆、チームワークとしての絆。どちらにしても相手を思うことを大切に繋がる結びつきを続けていけるよう、教職員一同、力を合わせて、前期後半のまとめをしっかりとしていきたいと思います。保護者の皆様、地域の皆様の変わらぬご支援もよろしくお願ひします。

